

専用線

概要・基本設定	2
基本設定	2
物理インターフェース	2
TDM グループ (タイムスロット情報) の作成	2
データリンク層とのインターフェース	2
コマンドリファレンス編	4
機能別コマンド索引	4
ADD TDM	5
CREATE TDM	6
DELETE TDM	7
DESTROY TDM	8
PURGE TDM	9
SHOW TDM	10

概要・基本設定

ここでは、BRI インターフェースを使って、専用線に接続するための方法について説明します。

基本設定

物理インターフェース

本製品を専用線に接続するときは、BRI インターフェースを使います。

BRI インターフェースを専用線（64Kbps、128Kbps）との接続に使用する場合は、SET BRI コマンド（「インターフェース」の 31 ページ）で常時起動の TDM（専用線）モードに切り替える必要があります。また、すべてのタイムスロットを TDM 用に設定する必要があります。BRI インターフェースのデフォルト設定は ISDN モードです。

BRI インターフェース「0」を専用線モードに切り替えるには次のようにします。

```
SET BRI=0 MODE=TDM ACTIVATION=ALWAYS TDMSLOTS=1-2 ↵
```

- ❖ BRI インターフェースを TDM モードに切り替えるときは、回線速度に関係なく、すべてのタイムスロットを TDM モードに設定してください。BRI インターフェースの場合は、例のように 1～2 の全スロットを TDM モードに切り替えます。一部のスロットだけを TDM モードに変更すると、残りのスロットは ISDN モードのままとなりますが、日本国内では同一回線上で ISDN の回線交換と専用線接続を行えるサービスがありませんので、誤動作を避けるためにも専用線使用時はすべてのスロットを TDM モードに変更してください。

TDM グループ（タイムスロット情報）の作成

BRI インターフェースで専用線に接続するときは、タイムスロットの管理を担当する TDM（Time Division Multiplexing）モジュールの設定が必要です。具体的には、TDM グループを作成し、インターフェース上で使用するタイムスロットを指定します。

TDM グループは CREATE TDM コマンド（6 ページ）で作成します。GROUP パラメーターには任意の名前を指定します。また、INTERFACE パラメーターで物理インターフェース（BRI）を、SLOTS パラメーターで使用するスロットを指定してください。スロットの指定は接続する回線の速度によって異なります。1 スロットは 64Kbps に相当します。次に例を示します。

64Kbps 専用線の場合（BRI）

```
CREATE TDM GROUP=remote INT=bri0 SLOTS=1 ↵
```

128Kbps 専用線の場合（BRI）

```
CREATE TDM GROUP=remote INT=bri0 SLOTS=1-2 ↵
```

データリンク層とのインターフェース

専用線上で使用できるデータリンク層プロトコルは PPP のみです。専用線上で PPP を使用するときは、

CREATE PPP コマンド（「PPP」の 26 ページ）の OVER パラメーターで TDM グループ名を指定します。

TDM グループ「remote」上に PPP インターフェース「0」を作成するには次のようにします。CREATE PPP コマンド（「PPP」の 26 ページ）の OVER パラメーターには「TDM-groupname」の形式で TDM グループ名を指定してください。「TDM-」は TDM グループであることを示す固定文字列、「groupname」はグループ名です。

```
CREATE PPP=0 OVER=TDM-remote ↵
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

一般コマンド

ADD TDM	5
CREATE TDM	6
DELETE TDM	7
DESTROY TDM	8
PURGE TDM	9
SHOW TDM	10

ADD TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

ADD TDM GROUP=groupname SLOTS=slotlist

groupname: TDM グループ名（1～15 文字。任意の印刷可能文字を使用可能）

slotlist: タイムスロットのリスト（スロット番号 1～2 の組み合わせ。カンマ、ハイフンによる複数指定が可能）

解説

TDM グループにタイムスロットを追加する。

パラメーター

GROUP TDM グループ名

SLOTS 追加するタイムスロットのリスト。カンマ、ハイフンによる複数指定が可能。

例

TDM グループ「remote」にタイムスロット 2 を追加する。

ADD TDM GROUP=remote SLOTS=2

関連コマンド

CREATE TDM（6 ページ）

DELETE TDM（7 ページ）

DESTROY TDM（8 ページ）

PURGE TDM（9 ページ）

SHOW TDM（10 ページ）

CREATE TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

CREATE TDM *GROUP=groupname* *INTERFACE=bri-interface* *SLOTS=slotlist*

groupname: TDM グループ名（1～15 文字。任意の印刷可能文字を使用可能）

bri-interface: BRI インターフェース名

slotlist: タイムスロット（1～2。カンマ、ハイフンによる複数指定が可能）

解説

BRI インターフェース上に TDM グループを作成する。

TDM グループは、専用線接続に使用するタイムスロットを指定するもの。スロットは回線速度に応じて指定する。1 スロットは 64Kbps に相当。作成した TDM グループは、上位（データリンク層）モジュールからは物理回線として扱われる。

パラメーター

GROUP TDM グループ名

INTERFACE BRI インターフェース名。これらのインターフェースは、TDM モードに設定されていない。インターフェースの動作モードは、SET BRI コマンドで変更することができる。

SLOTS 使用するタイムスロットを指定する。カンマ、ハイフンを使って範囲指定や複数指定が可能

例

BRI0 インターフェース上に TDM グループ「office」を作成する。128K 専用線に接続するため、スロット 1、2（B1、B2）の両方を割り当てる。

```
CREATE TDM GROUP=office INTERFACE=bri0 SLOTS=1-2
```

関連コマンド

ADD TDM（5 ページ）

DELETE TDM（7 ページ）

DESTROY TDM（8 ページ）

PURGE TDM（9 ページ）

SHOW TDM（10 ページ）

DELETE TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

DELETE TDM GROUP=groupname SLOTS=slotlist

groupname: TDM グループ名 (1~15 文字。任意の印刷可能文字を使用可能)

slotlist: タイムスロット (1~2。カンマ、ハイフンによる複数指定が可能)

解説

TDM グループからタイムスロットを削除する。

パラメーター

GROUP TDM グループ名

SLOTS 削除するタイムスロット。カンマ、ハイフンで範囲指定や複数指定が可能。

例

TDM グループ「remote」からタイムスロット 2 を削除する。

DELETE TDM GROUP=remote SLOTS=2

関連コマンド

ADD TDM (5 ページ)

CREATE TDM (6 ページ)

DESTROY TDM (8 ページ)

PURGE TDM (9 ページ)

SHOW TDM (10 ページ)

DESTROY TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

DESTROY TDM GROUP=*groupname*

groupname: TDM グループ名（1～15 文字。任意の印刷可能文字を使用可能）

解説

TDM グループを削除する。

TDM グループ上にデータリンク層インターフェース（PPP）を作成しているときは削除できない。

パラメーター

GROUP TDM グループ名

例

TDM グループ「office」を削除する。

DESTROY TDM GROUP=office

関連コマンド

ADD TDM（5 ページ）

CREATE TDM（6 ページ）

DELETE TDM（7 ページ）

PURGE TDM（9 ページ）

SHOW TDM（10 ページ）

PURGE TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

PURGE TDM GROUP

解説

TDM グループをすべて削除する。

TDM グループ上にデータリンク層インターフェース（PPP）を作成しているときは削除できない。

関連コマンド

ADD TDM (5 ページ)

CREATE TDM (6 ページ)

DELETE TDM (7 ページ)

DESTROY TDM (8 ページ)

SHOW TDM (10 ページ)

SHOW TDM

カテゴリー：専用線 / 一般コマンド

対象機種：AR130、AR160

SHOW TDM GROUP [=groupname] [INTERFACE=bri-interface]

groupname: TDM グループ名 (1~15 文字。任意の印刷可能文字を使用可能)

bri-interface: BRI インターフェース名

解説

TDM グループの情報を表示する。

パラメーター

GROUP TDM グループ名。省略時はすべての TDM グループに関する情報が表示される。

INTERFACE BRI インターフェース名。指定時は、該当インターフェース上の TDM グループだけが表示される。

入力・出力・画面例

```

Manager > show tdm group

Interface
  Group Name      User      Speed      Slots
-----
bri0
  remote         Yes       128K       1-2
-----

```

Group name	TDM グループ名
User	TDM グループ上にデータリンク層インターフェースが作成されているかどうか
Speed	所属タイムスロットの合計帯域
Slots	所属タイムスロットの一覧

表 1:

関連コマンド

ADD TDM (5 ページ)

CREATE TDM (6 ページ)

DELETE TDM (7 ページ)

DESTROY TDM (8 ページ)

PURGE TDM (9 ページ)